

平成28年度の各会計 決算を徹底チェック!

町民のくらしに どう生かされた?

細かくチェック
しました!

私たちの税金
どう使ったの?



決算特別委員会 Q&A

このほか長い時間をかけて審査を行いました。
質疑の一部をお伝えします。

Q 昨年度のふるさと納税は、返礼品費用等を含めると、約450万円の赤字になるが。

A 各自治体が返礼品等の品揃えを充実させてきたことで、町外自治体へ納付する人が増えたことが赤字となった要因の一つと考える。町としても返礼品を充実させ寄附額を増やす取り組みをしていく。

Q ぐるっとたまむら周遊事業の委託内容と実績は。

A 低速電動バスの運行業務を全て一般社団法人たまむら住民活動支援センターに委託した。実績については、町内の42ヵ所に出向き、運行回数が420回、3188人が乗車した。主な出向き先は、道の駅玉村宿の周辺に16回、福祉施設等の慰問に3回、町内の児童館に10回、町内で行われたイベント等に13回であった。



Q 法律相談事業の実施状況は。

A 毎月1回、社会福祉協議会を会場にして、一般住民を対象とした弁護士による法律相談を行っている。

Q ラチオななみによる行政情報放送の視聴・活用状況は。

A 聴取率の確認はしていない。町は災害時の協定を締結しており、情報伝達手段の一つとして、効果的な活用ができるよう検討していく。



Q 東部スポーツ広場と北部公園管理事業の委託料が増加しているが。

A 東部スポーツ広場については、バーベキュー場を予約制にしたため新たな管理業務が発生したことにより増加となった。また、北部公園については、ランニングコストが年々上昇しているため増加となった。

Q 学校給食の地産地消の取り組みは。

A 地産地消については、栄養士が給食にできるだけ多くの地場産を使用する取り組みを行っており、平成26年度から地元生産農家の協力を得て、直接安く新鮮なものを仕入れている。地場産率は県内産が40.1%、町内産が19.2%と年々増えており、米については、町内産を100%使用している。

Q 多面的機能支払交付金事業補助金のチェック体制は。

A 活動前に事業計画や予算書を作成し、活動後には実績報告を提出してもらう。町は実績報告とともに提出される作業日報、日計表等に基づいて確認している。また年2回県職員が実際に出向いて各団体とヒアリングを行うなど年間をとおしてのチェックを行っているが、今まで以上に町担当職員も現地に出向き活動状況を確認していきたい。

Q ファミリー・サポート・センター事業費441万円の内訳は。

A アドバイザーとしてフルタイムで常駐しているスタッフ1名と、電話対応等の事務を行うスタッフ1名分の人件費が大半で、残りは事務費等である。



Q スクールカウンセラー配置事業の内容は。

A 県のスクールカウンセラーが配置されているが、月に1回程度しか行けない学校もあるので、さらに充実させるため、町は大学教授や臨床心理に対する専門的な知識を持っている4名を配置している。